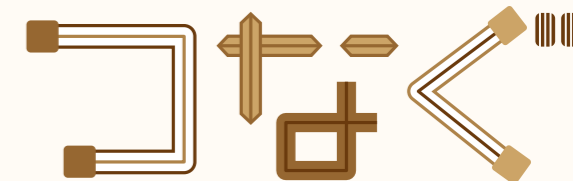




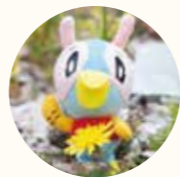
あらゆる人と共に…

5月号  
2015  
vol.127



# キッピーファミリーとあそぼ

問 難しく考えないで



111=0  
998=4  
333=0  
888=6  
では 269 は?



応募者の中から抽選で3人に三田市特製キッピーストラップまたは、小さなぬいぐるみを進呈します。答えの数字と、お名前(ペンネーム)、ご住所、性別、年齢、「つなぐ」を読まれたご意見、ご感想を明記の上、5月29日(金)必着で以下のいずれかにお送りください

送先

✉ [gikai\\_u@city.sanda.lg.jp](mailto:gikai_u@city.sanda.lg.jp)  
FAX 079-564-2992

前回の答

A=2 B=1 C=7 D=8

プレゼント当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。  
・個人情報は厳重に管理・保護いたします。  
・いただいたご意見、ご感想を掲載させていただくことがありますので、ご了承ください。

## 読者のひとこと

「時代の流れを先取りして行ける議会運営を望んでいます。」 まーさん (68歳男性)  
「議会の事がよくわかります。」 bontaさん (16歳男性)  
「各議員の質問の回答に「検討する」等が多く具体的な施策が感じられないのが残念です。」 蛭沙さん (65歳女性)

## 日本初の試み!

# 三田市議会は市政相談を始めます (^-^)

皆様のご意見を市議会にお届けください!

6月1日から毎月「1日」(1日が土・日の場合は次の月曜日になります)  
【相談場所】 市役所6階 委員会室 【相談時間】 午後1時から 最大5件(1案件30分以内)  
【申し込み】 議会事務局まで電話予約 559-5162  
日程が変更される場合がありますので、事前にご確認ください。

相談例  
フラワータウンの「ふらっと」のような施設を増やしてほしい。

JR新三田駅前ロータリーの草が伸びて汚い。

公共施設の予約に午前0時にアクセスしたなかなか繋がらない。

図書館の出口から進入してくる車に対し、進入禁止のマークが設置されているが、地面にも表示してはどうか。

など、どうぞお気軽にご相談ください。お待ちしております!

三田市議会だより 「ななく」 2015.5 vol.127  
〒669-1595 三田市三輪2-1-1 TEL.079-559-5162 FAX.079-564-2992  
✉ [gikai\\_u@city.sanda.lg.jp](mailto:gikai_u@city.sanda.lg.jp) 市議会に関することは何でもお気軽にご意見をお寄せください。

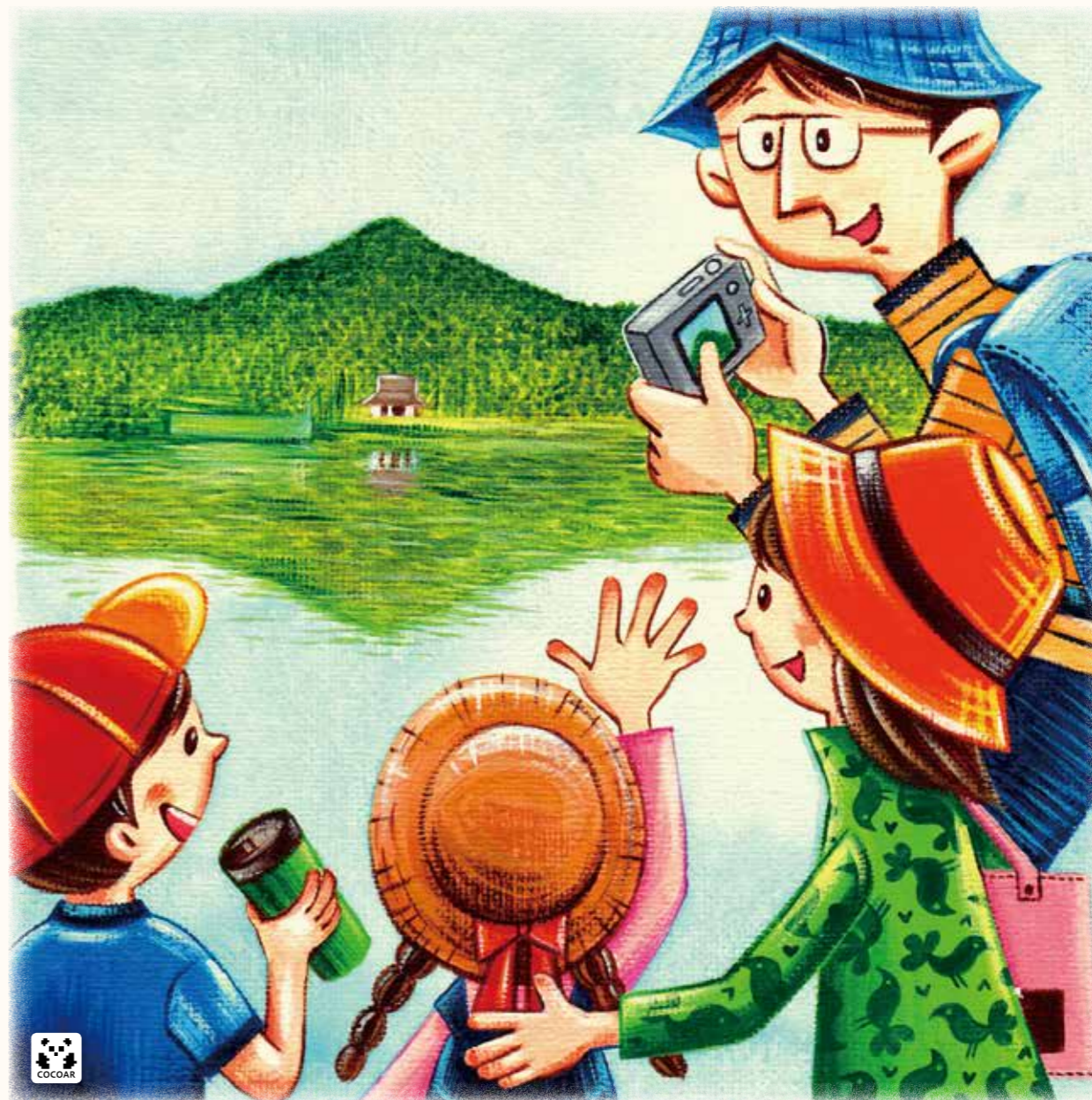


## 表紙紹介

～春の日に  
有馬富士公園でピクニック～

今号から三田市在住のイラストレーター、広野りおさんに表紙を描いていただくことになりました。三田八景にも数えられる「有馬富士」にみなさんもお出かけください。

広野りおさんのホームページ  
<http://punchdrops.com/>

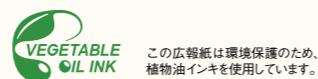


© 広野りおさん

議会広報委員会  
[委員長] 長尾明憲 [副委員長] 西上俊彦  
[委員] 大西雅子 美藤和広 福田秀章 厚地弘行  
[議会事務局] 今井和範 森鼻大介 酒井和裕

## 編集後記

いつも多くの読者の皆様から感想をお寄せいただきありがとうございます。表紙のイラストが新しくなりました。発行回数も年8回に増えます。より多くの皆様に読んでいただけるようがんばります。



15 議8-030 A4

## スマホで動画「COCOAR ココアル」臨場感をもっと身近に。



<ダウンロードの方法>  
iPhone = 「AppStore」 Android = 「Google Play」で「cocoar」と検索。  
インストール後アプリを起動し、表紙イラストにしばらくかざすと動画が流れます。  
※機種、通信環境によって動作が遅くなったり、作動しない場合があります。



SANDA CITY COUNCIL

# 質問しつもん

まちづくりや暮らしに関する制度など、市のあらゆる事業、方針について議員が質問する中で、主張・提言・指摘します。

市の重要な施策の決定を、この本会議で行っています。

3月定例会は代表質問のみです。会派を代表しての質問時間は答弁とあわせて90分です。

三田市議会会議録

検索

三田市議会インターネット中継

## 草莽の会

今北 義明 議員



## 新政みらい

厚地 弘行 議員



### 市政

## 市長の考える三田市の未来像は…

**議員** 竹内市政8年間の実績を大きく評価する。市長が考える「三田市の未来像」はどのようなものか。

### 市 人間中心のまちへ

三田市には、共に生き、共に支える人、様々な都市機能の集積と地域固有の文化を持つまち、私たちの生活に潤いをもたらす豊かな自然がある。これからも、全ての市民の皆さんにとって「住みたい、住み続けたいまち」であり、幸せと生きる喜びを享受できるまち、次代を担う子どもたちが夢と希望が持てる、そのような人間中心のまちであってほしい。(市長)

### 地方創生

## 三田市としての地方創生の取り組みは

**議員** 日本全体が人口減少へと向かう中で、他都市からの人口流入施策のみで良いのか、三田市としての地方創生の取り組みをどのように考えているのか。

### 市 出生率向上の取り組みを充実

転入者増加のみに焦点を当てた取り組みだけでなく、三田市に安心して住み続けられる施策、進学や就職で一度本市を離れても、再び帰ってきたいくなる施策とともに、子育て環境を更に充実するなど、三田で子どもを産んでいただける、出生率向上の取り組みも充実していく。(市長)

**他の質問** ふるさと納税のこれからとシティセールス、窓口業務の拡大、地域担当制とふるさと地域交付金、県道三田後川上線(工事)の進捗、市民病院の今後、サンフラワーの現状、母子小学校小規模特認校に対する支援、上水道の諸問題

**説明** \*地方創生:国が抱える人口減や少子高齢化などの課題により地方が衰退しつつあるという状況に対し、国と地方が一体となって地域を活性化しようとするもの。

### 就労

## プレゼンによる起業支援をしてはどうか

**議員** 市内の大学卒業後の職場が少ない。就労対策としての起業支援の考えを聞く。また空き店舗の活用策はどうか。

### 市 慎重な検討が必要

雇用創出には期待できるが、リスクを伴うので審査体制など慎重に検討していく必要がある。現状は商工会が創業支援セミナーを開催している。空き店舗の活用はこれまでも行ったが持続的になっていない。商工会・商店街と連携し、実態調査を行うと共に賃貸可能な物件の紹介など有効な方法を検討したい。(菟原経済環境部長)

### 教育

## IT教育と図書のビブリオバトル

**議員** タブレットの配置などIT教育が広まるが、ネットによる児童生徒への弊害も出てきている。利用についての検討も必要である。また、学校図書においてビブリオバトルを行う事により、話す力、聞く力、表現力また、コミュニケーション能力の向上が期待できるし本も好きになると考える。

### 市 司書配置他、多様な読書活動を工夫する

フィルタリングや利用時間の制限など家庭でのルールづくりの啓発が必要であると考え。ビブリオバトルは読書活動やコミュニケーションの機会として有効であると考え。(大澤教育長)

**他の質問** これからの三田市、シティセールス、新庁舎及び西庁舎・西2号庁舎の改修、三田市国際交流協会と市の関わり、手話言語条例の策定、地域担当制の課題、職員の就業中の運転事故の対策

**説明** \*ビブリオバトル:自分が面白いと思った本を持って集まり、順番に本を紹介する。発表の後に「どの本が一番読みたくなったか」を基準とした投票を全員で行いチャンピオンの本を決める。

## 公明党

平野 管子 議員



## 市民の会第二

榎田 充 議員



### 教育

## 小中一貫教育に対する見解と導入の考えは

**議員** 文科省は小・中学校への切れ目のない学習や教育の質的向上を図り、小規模校の課題である子どもたちの社会性を育む教育の充実のため、小中一貫教育の実施を可能としているが市の見解を伺う。

### 市 ニーズを踏まえ研究する。

小中9年間のより良い学びの実現のため教育課程の編成の研究が重要と考える。現在進めている小中連携教育の充実を図り一貫教育導入による効果の研究とともに、児童生徒の実態や地域・保護者ニーズを踏まえ導入研究してまいりたい。(大澤教育長)

### 事務改善

## コンビニでの証明書交付の考えについて

**議員** 今年10月よりマイナンバー制度が導入されるが、それに伴い「マイナンバーカード」による諸証明の発行がコンビニで可能となる。これまでに以上に利便性が高くなると思うが導入について伺う。

### 市 導入に向け推進したい。

コンビニ交付は、全国の取り扱いコンビニからでも発行でき、利用者にとって大変利便性が高いものとする。また今後、戸籍謄抄本など現行の交付機にない証明書の交付も可能となることから、導入に向け推進していきたい。(佐々木まちづくり部長)

**他の質問** 三田市の新たなまちづくりに向けた取り組み-地方創生と三田版総合戦略

**説明** \*マイナンバー制度:社会保障・税制度の効率性・透明性を高めるため、国民一人ひとりに12桁の番号を割り当て、個人情報の確認を行う制度のこと。希望者には個人番号カードが交付される。

### 地域活性

## 賑わいと活気のあるまちを目指して

**議員** 若い世代の定着に向け、学生や若者が余暇を楽しみ、幅広く交流できる場、働ける場、出会う場が必要と考えるが。

### 市 地域と協議しながら検討

若い世代においては、18歳のみが転入超過となっている。市内の大学等に通う学生の皆さんが市内に住み、様々な活動を行うことで地域が活性化することが期待されるので、何らかの仕掛けが必要と考える。三田駅前Cブロック、新三田駅周辺の開発において地域と協議しながらそのような場づくりも検討していく。(市長)

**説明** \*三田駅前Cブロック:三田市の玄関口である三田駅前周辺地域の再編成を行う計画において、4つのブロックに区分し順次整備をすすめている。既に完了したAブロック(キッピーモール)、Dブロック(レバンテ三田)、現在整備中のBブロックに続き、Cブロック地区についても計画をすすめている。

### 教育

## 「ひまわり特別支援学校」の開校について

**議員** 「ひまわり特別支援学校」の開校が三田の教育全体にもたらす効果は。

### 市 特別支援教育の中核を担う

ひまわり特別支援学校は、センター的機能を有する学校であり、専門性を高めた教職員が在籍しており、三田市における特別支援教育の中核を担う。必要に応じて、ひまわり特別支援学校に設置する教育相談室を活用した教育相談、市内教員を対象とした実践的な授業づくり講座、居住地校の肢体不自由学級担任等を対象とした自立活動研修などを実施する。(大澤教育長)

**他の質問** 予算に込めた市長の思い、高等学校学区再編による動向、「地域力」の向上をどう図るか

**説明** \*ひまわり特別支援学校:今年4月に開校した、市在住の肢体不自由の児童生徒を対象とした特別支援学校。小学部は富士小学校、中学部・高等部は富士中学校に併設。

日本共産党

長尾 明憲 議員



市民の会第一

家代岡 桂子 議員



介護

必要な人が特養へ入所できる仕組みを

議員 介護保険の改訂により特別養護老人ホームの入所要件から要介護認定1～2の人が外される。一律で「要介護認定3以上」に限定すると、要介護1～2であっても家庭環境や、家族の問題などで自宅生活できない人達が行き場を失うことになる。必要な人は入所できるよう個々に応じた対応を求める。

市 必要性を見て対応

兵庫県の入所コーディネートマニュアルには特別入所を認める基準があり、要介護認定1～2であっても入所の必要性が高い場合は利用できるようになっている。(本田健康福祉部長)

説明 \*要介護認定:介護保険制度では、日常生活に支援が必要になった場合に、介護サービスを受けることができるが、介護が必要な状態にあるかどうかや、程度の判定を市町村が設置する介護認定審査会で行うのが要介護認定であり、程度により1～2の要支援と1～5の要介護に区分される。

福祉

手話言語条例の制定を

議員 聴覚障害者は聞こえない為に必要な情報も得られず、コミュニケーションも伝わらず、人として大切な権利を奪われ、地域の繋がりがなくなりがち。手話を通して市民と聴覚障害者が共に暮らせる社会、聴覚障害者だけでなく、誰もが暮らしやすい共生社会を実現するためにも、障害を持つ当事者を含め条例制定に取り組むことを求める。

市 条例制定は国の法整備等の動向を見ながら検討

関係団体等と連携し、聴覚障害者の理解や手話の普及啓発に努めるとともに国の法整備等の動向を見ながら条例制定に向け引き続き検討する。(本田健康福祉部長)

他の質問 子育て支援、地域経済の活性化、雇用対策・地域特性に応じた交通施策の実現、資源ごみ持ち去り禁止条例の制定

説明 \*手話言語:手話も言語の一つであるという考え方。手話を普及させることで聴覚障害の有無にかかわらずコミュニケーションが図れる地域社会をめざし、全国的に条例化が進んでいる。

子育て

待機児童ゼロの見通しは

議員 新年度の子育て施策では平成26年度の待機児童は33人だが、新規施策が実施されると、待機児童はゼロになるのか。それとも保育施設の受け皿拡充で潜在需要が表面化し、待機児童が新たに発生するのか、見通しをうかがう。

市 29年度当初には解消

平成27年度は4月時点で120人前後が入所待ちになる見込み。28年度4月には60人の認可保育所と小規模保育事業所(3施設)を開設して117人の受け入れ確保、29年度4月には90人の認可保育所と小規模保育事業所を開設し待機児童が解消する見通し。(本田健康福祉部長)

説明 \*待機児童:待機児童とは、保育所に入所の申請をしているにも関わらず、受入定員を超過するなどの理由で入所できない児童のこと。子育て世代の親が共働きできないなど社会問題となっている。

市職員

市職員の市内居住促進について

議員 市職員のうち市内居住者比率はいかほどか。生活の場で市民と日常的に接することで、地域の実情がよくわかるし、地域コミュニティと市役所との絆も深まる。「地域力」のアップにもつながると思う。市内居住促進対策を伺う。

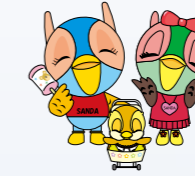
市 促進策を研究していく

職員の市内居住率は、平成26年4月1日現在で52.4%。市外でも近隣地域に居住している職員が多く、有事の際の参集に大きな影響はないと考えるが、協働のまちづくりを進めていく上で、促進策を研究していく。(中畑理事)

他の質問 市長の勇退表明、道徳の教科化、認知症対策、空き家、空き店舗対策、都市計画道路の整備、自転車条例の制定

# 新年度予算を審議

27年度予算は、「子育てするならゼツタイ三田」を合言葉に子育て支援に力を入れ、若い世代の入居と定着の取り組みを進めるなど、活力とにぎわいのある三田づくりをめざした予算になっています。



## 27年度予算

一般会計	396億1,500万円	一般的な用途で市民のために広く使われる
特別会計	192億3,780万円	駐車場事業など特定の目的のために使われる
企業会計	194億9,477万円	利用者が負担する経費(水道料金等)によって運営される
総額	783億4,757万円	前年度当初比1.6%(約12億円)の増

### <企画総務分科会> 市からの情報発信・情報伝達について

市内でコミュニティFMの入らないエリアがあるが、情報を幅広く発信するためのしくみづくりが必要ではないか。



市 26年度から市広報番組のすべてを市ホームページでコミュニティFMが聴けるようにしている。また、毎月1日号の伸びゆく三田最終面にも番組表を掲載し、市民へ啓発している。

### <福祉教育分科会> 生活保護返納金について

他市では、生活保護費の不正受給者の調査を行うチームがあり、不正受給があった場合の返還方法や、生活支援についての対策が講じられている。三田市の取り組みは。



市 ケースワーカーが本人の生活実態の把握に努めている。返還金が生じた場合は本来全額一括返済であるが、これができない場合は本人の生活状況等に応じた金額での分割返還を促している。

### <都市環境分科会> 中小企業長期融資預託金について

借入額500万円までの信用保証料を市が負担するこの制度の利用件数はどうなっているか。500万円を超える融資を受けられるよう負担金の増額はできないか。



市 26年度は、小規模20件、中小企業33件の利用。貸付額の平均は5～600万円なので、定率よりも定額500万円の方が借主の利益になると考え、融資限度額の増は検討していない。

### <総括質疑> 一般廃棄物収集運搬業務について

家庭系ごみの収集は平成26年度から、市全体の直営部分のうち約35パーセントを民間委託にしたことは評価するが、落札業者は既に随意契約で受託している業者であり、市全体の約70パーセントを受託しているリスクをどのように考えているか。また、事業系ごみの収集運搬は市の許認可業務であり、長年2社のみとなっている。業者育成の観点からも許認可を増やすべきではないか。



市 入札の結果として、同一業者で全体の70パーセントを占めることとなったものである。平成29年度から随意契約を競争入札に移行することでリスクを回避できる。許認可については慎重に検討する。

上記は各分科会等での審査内容の一例です。企画総務分科会に始まり、福祉教育分科会、都市環境分科会、全大会(総括質疑)、表決までの5日間に渡って予算全般について詳細な審査を行いました。

審議の結果は… 一部の予算案については反対の意見がありましたが、採決の結果、賛成多数で予算決算常任委員会を通過、その後の本会議においても反対討論、賛成討論が行われた結果、いずれも賛成多数(賛成18、反対3)で可決しました。その他の予算案については、全会一致で可決しました。(次ページに詳細)

# DIGEST

## 平成27年 3月定例会の結果

議員数=22名 表決参加議員数=21名 ※議長は表決には加わりません。  
赤字=議員が提出した議案 その他=市長提出議案

<2月26日～3月25日/会期28日間> 3月定例会には市長提出議案47件が提出されました。  
また、陳情3件についても審議しました。(陳情は採択しません)

### 議案第6号 平成27年度三田市一般会計予算

平成27年度三田市一般会計予算の総額を歳入歳出それぞれ396億1千500万円と定めようとするもの

### 議案第11号 平成27年度三田市介護保険事業特別会計予算

平成27年度三田市介護保険事業特別会計予算の総額を歳入歳出それぞれ62億9千800万円と定めようとするもの

賛成 可決に 反対

可決  
賛成18名  
反対3名

【草莽の会】笠谷、森本、福田、今北 【新政みらい】佐貴、肥後、田中、厚地 【市民の会第二】美藤、檜田、坂本 【公明党】大西、松岡、平野 【市民の会第一】西上、家代岡 【無党派】北本、関口

【日本共産党】長尾、長谷川、中田

#### 議案第6号に対する賛成討論

23年度当初予算から5年連続で財政調整基金を取りくずすことなく健全財政の堅持を基本としている。等

#### 議案第11号に対する賛成討論

市の介護保険事業計画に基づき、適正な介護保険料を算定されるとともに、介護保険制度を維持していくことを目的に、様々な高齢者福祉施策に対する取り組みを推進する、充実した予算と考える。等

(新政みらい 肥後淳三)

#### 議案第6号反対討論

図書管指定管理導入のリスクがまだ解消されていない。マイナンバー制度導入は個人情報の保護に不安が残る。等

#### 議案第11号に対する反対討論

介護保険の基金を半分しか使わず、保険料が引き上げとなっている。高齢者の生活に大きな負担を負わすことになり、セーフティネット崩壊で、悲劇的な結果を生み出す原因にもなりかねない。等

(日本共産党 中田初美)

### 議案第30号 三田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

介護保険法施行令の一部改正に伴い、保険料率に係る区分を多段階化するとともに、平成27年度から平成29年度までの保険料率を改定する等に当たり、当該条例の一部を改正しようとするもの。

### 議案第31号 三田市総合福祉保健センター条例の一部を改正する条例の制定について

高齢者や障害者等の生活を支援するため、三田市総合福祉保健センターに新たに権利擁護・成年後見支援センターを設置するに当たり、当該条例の一部を改正しようとするもの。

### 議案第38号 三田市高齢者保健福祉計画及び三田市介護保険事業計画の改定について

三田市高齢者保健福祉計画及び三田市介護保険事業計画を改定するに当たり、三田市議会の議決すべき事件等に関する条例第2条第1号の規定により、議会の議決を求めるもの。

賛成 可決に 反対

可決  
賛成18名  
反対3名

【草莽の会】笠谷、森本、福田、今北 【新政みらい】佐貴、肥後、田中、厚地 【市民の会第二】美藤、檜田、坂本 【公明党】大西、松岡、平野 【市民の会第一】西上、家代岡 【無党派】北本、関口

【日本共産党】長尾、長谷川、中田

#### 議案第30号に対する賛成討論

介護保険法の規定による3年毎の見直しで介護保険料の改定を行うもので安定した制度維持のために必要。等

#### 議案第31号に対する賛成討論

生活困窮者自立支援法が施行されることに伴う改正で、市が主体的に責任を持ち、高齢者や障害者への権利擁護や困窮者支援を行おうとしている。等

#### 議案第38号に対する賛成討論

急速な高齢化が予測される中、基金の活用により、急激な保険料の上昇を抑制し、市民負担に配慮した妥当な改定であると考え。等

(草莽の会 福田秀章)

#### 議案第30号に対する反対討論

市が保有する基金全額を補填することで、介護保険料の引き上げを食い止めることができる。高齢者への負担を極力減らすために、有効な基金の活用を求める。等

#### 議案第31号に対する反対討論

なぜあえて庁内に相談窓口を設けず社協に相談窓口設置も含め「丸投げ」をするのか。市が問題解決の努力をしていくことが必要と考える。等

#### 議案第38号に対する反対討論

介護保険料の大幅な引き上げを含んでいる。等

(日本共産党 長尾明憲)

### 全議員が賛成した議案等(可決、同意)

予算 平成26年度三田市一般会計補正予算(第9号) など予算案件 13件

条例 三田市下水道条例及び三田市生活排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について など条例案件 21件

その他 三田市いじめ問題対策連絡協議会設置条例の制定について などその他案件 7件、人事案件 1件

議案内容等の詳細は、三田市議会ホームページの「審議予定・結果」をご覧ください。